

令和7年度とやま呉西圏域調査研究事業補助金

二拠点居住の契機となりうる交流人口増加に関する基礎的研究  
- 姿地区における倒壊家屋の解体跡地を活用した賑わいづくりと来訪者への意識調査 -

報告書

2026年4月17日

富山大学 芸術文化学部 横山天心研究室

## 1. 背景

富山県氷見市姿地区は令和6年能登半島地震後により、家屋の倒壊などの甚大な被害を受けた(写真1,2)。横山研究室は令和6年6月から姿地区の復興支援に携わっており、世帯数が約2/3となった姿地区の自治会活動(草むしりや、お宮掃除等)のサポートを行ってきた(写真3,4)。



写真1：地震の被害



写真2：地震の被害



写真3：ボランティアの草むしり



写真4：ボランティアの島掃除

令和7年4月からは、自治会長からの依頼により、公費解体跡地が放置され姿地区の景観を損なうことが無いよう、それらの具体的な活用方法の提案に取り組んだ。フィールドワークにより地区の現状と特性を分析し(写真5,6)、3つの活用案を8月の住民説明会で提示した(写真7)。具体的には①海や山といった豊かな自然を活かした農村留学プログラム(図1)、②魅力スポットを巡る散策コース(図2)、③虻ヶ島への眺望を活かした展望公園(図3)を考案し、模型と図面でプレゼンテーションした。



写真5：フィールドワーク



写真6：フィールドワーク

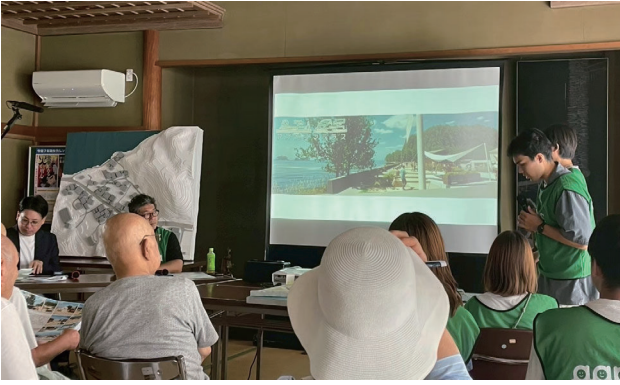


写真 7：住民説明会 発表



写真 8：住民説明会 意見交換ワークショップ



図 1：農村留学プログラム



図 2：魅力スポットを巡る散策コース



図 3：本作品の原案イメージパース

プレゼンテーションの後は、各提案ごとにテーブルを設け、それぞれの提案について住民の意向を聞き入れるため、学生たちがファシリテーターとなって意見交換ワークショップを行った（写真 8）。



写真9：本作品の原案模型

## 2. 目的

本事業では、8月の住民説明会で提示した3つの提案の中から、住民の方から最も好評を得た③ 虻ヶ島への眺望を活かした展望公園（写真9）を原案として、社会実験として実践するため、「令和7年度とやま呉西圏域調査研究事業補助金」に本事業費を加えた予算内で実現可能な案を作成し、それを学生と住民が協力しながらセルフビルドで施工することを目的としている。

## 3. 基本設計

予算の都合上、今回の計画敷地は原案敷地の北部角地に限定し、地形の高低差を活かしながら、造成工事が簡略化できるように展望デッキを配置した「アブガシマテラス」を基本設計をまとめた。以下にそのコンセプトを示す。

### 基本設計のコンセプト

立山連峰を背景に富山湾に浮かぶ虻ガ島は、富山県最大の島であり、氷見市姿地区の象徴的な存在である。地区住民も虻ガ島を誇りに想っており、虻ガ島を望む景観は姿地区の原風景の一つとなっている。しかしながら、現状、地区内には虻ガ島を眺めながら佇むことが出来る場所がほとんどなく、唯一眺望が可能であった堤防添いの側道も無機質で、景観を楽しむ場としては不十分な印象があった。そこで、虻ガ島を望む「眺めの場」としての魅力を最大限高めることで、虻ガ島と住民の繋がりを強められる「アブガシマテラス」を計画した（図4, 5, 6）。



図4：「アブガシマテラス」の基本設計のイメージパース1



図5：「アブガシマテラス」の基本設計のイメージパース2



図6：「アブガシマテラス」の基本設計のイメージパース3

具体的な建築的操作としては、地区の端にある空き地及びコンクリート舗装部分と堤防とその側道を、高さ・面積の異なるテラスを階段状に配置することで、それらを緩やかに接続した(図7)。テラス同士のレベル差は、150・200mm(階段の段差、子どものベンチの高さ)、300・350mm(大人のベンチの高さ)、400・450mm(大人の椅子の高さ、子どものハイスツールの高さ)、650mm(大人のハイスツールの高さ)、700mm(テーブルの高さ)としており、大人も子供もそれぞれ異なる体勢で佇むことができるようになっている。



図7：基本設計の平面図兼配置図 1/300

さらに、敷地境界線や虻ガ島への景観軸に沿いながら、小さな庭の取り囲むように分散配置されたテラスにより、2つの居場所を設けた(図8)。

1つは「眺めの場」であり、虻ガ島に正対し、その眺めを様々なレベルから最大限楽しめるように設計した(図9)。

もう1つは「休憩の場」であり、庭を囲みながら人と人が会話をしながらくつろげるように設計した(図10)。

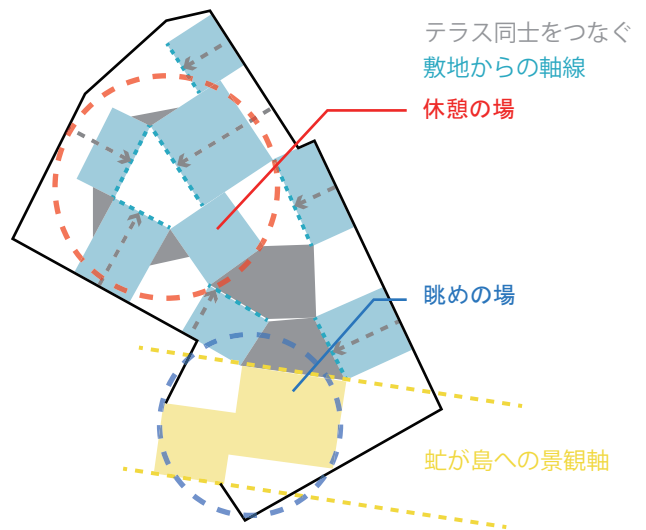


図8: 設計ダイアグラム



図9. 「眺めの場」のイメージパース



図10. 「休憩の場」のイメージパース





写真 12. 現場での組み立て作業

おり、鍬による整地が困難であったため、住民の方に重機で土起こしをしてもらった（写真 13）。木杭はオーガで下穴を空けた後に、ゴム製ハンマーで打ち込み、天端を揃えるためミリ単位で杭頭レベルを調整した（写真 14）。

デッキの頂部が重なるため、低いレベルのフレームから順番に杭打ちをして固定した（写真 15）。

デッキ材や幕板をビスでフレームに固定する際は、ビス穴のピッチや位置が揃うようジグを



写真 13. 重機による土起こし

用いた（写真 16）。

杭の打ち込みやデッキ材の塗装は、ワークショップ形式で住民の方々に協力を仰いだ（写真 17）。

最後に、清掃および庭の整備を行い、施工を完了した（写真 18）。今回の施工の中では、予算や時間の関係で、分断された庭には、ウッドチップを敷いた。本来の予定では、それぞれの庭に、花畑や芝生といった、個性ある空間を目指した。



写真 14. 杭打ちをする山本区長



写真 15. 低いレベルから組み上げられたフレーム



写真 16. ジグを用いた床板貼り



写真 17. 住民参加の塗装ワークショップ



写真 18. 竣工した「アブガシマテラス ver. 1.0」

## 7. オープニングセレモニー

オープニングセレモニーでは、来賓の菊池市長、篠田副市長、正保市議会議長、光澤市議会議員のご参列に加え、多くの地元住民やその親戚・友人が参加し、アブガシマテラスの門出を祝って頂いた。実際にテラスを使う姿が見られた。当日は参列者にバターチキンカレーやコーヒーが振舞われ、各々庭を囲んで、カレーを食べたり、テーブルを囲みながら虻ガ島を眺めながら会話を楽しむ方ど、アブガシマテラスのあちこちで様々なアクティビティが見られた。(写真 19, 20, 21)



写真 19. 庭を囲んでカレーを食べる住民たち



写真 20. テーブルを囲みながら虻ガ島を望む



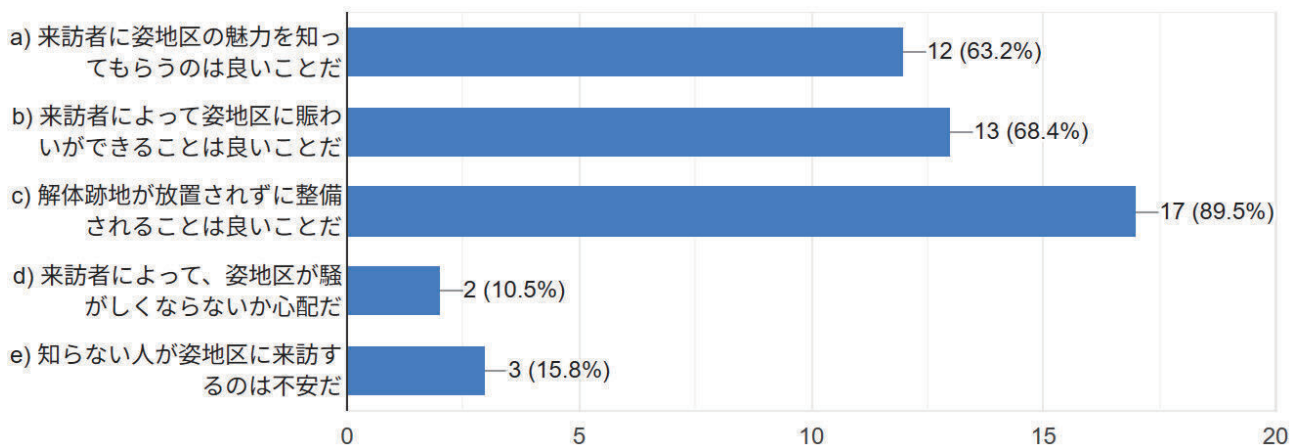
写真 21. オープニング全景

## 8. アンケート調査

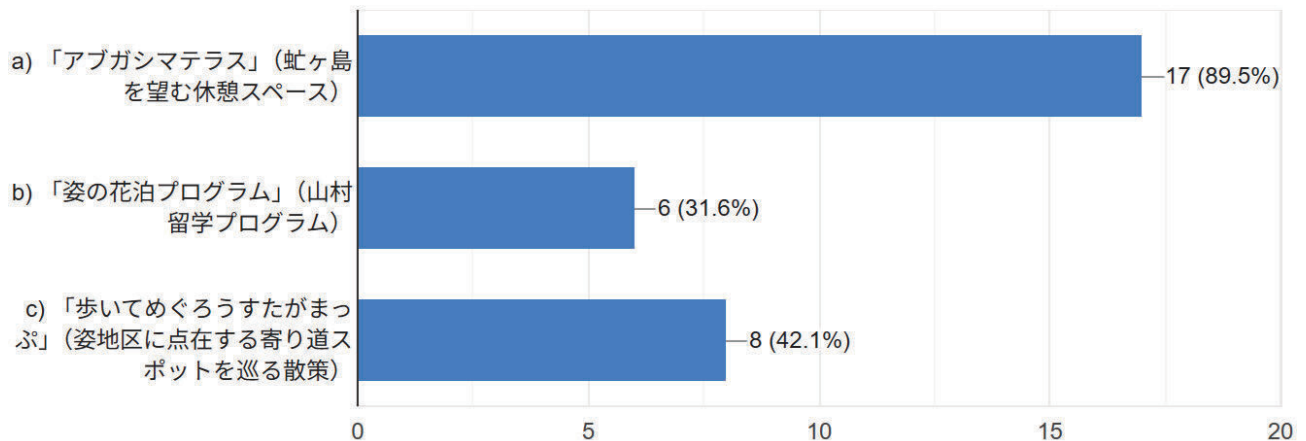
### 8-1 姿地区における「解体跡地を活用した賑わいづくりの発表会」に関するアンケート

2025. 08. 09 実施

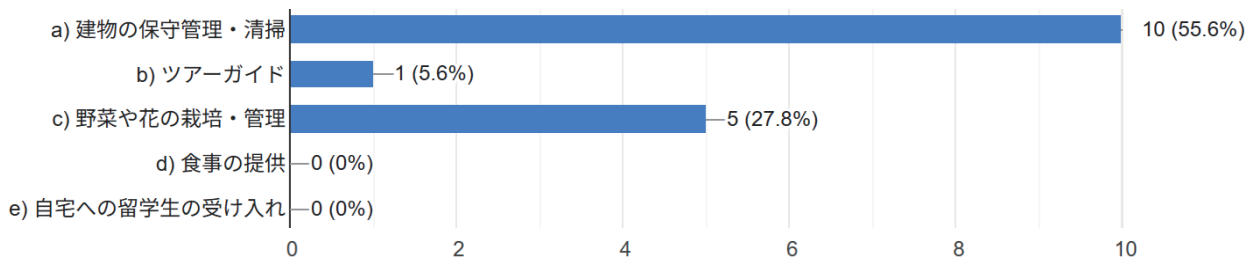
**Q1** 学生たちの提案は、解体跡地を活用することで、普段は姿地区の住民が気持ちよく過ごせるスペースを整備し、そのスペースを姿地区以外の人にも積極的に開放することで、来訪者に姿地区の魅力を体験してもらい、その結果として姿地区の交流人口を増加させることを目的としています。姿地区のファンが増えれば、後に姿地区への移住を検討する人もあらわれるかもしれません。こうした主旨の提案に対してどのように思われますか？（複数回答可）〈19件の回答〉

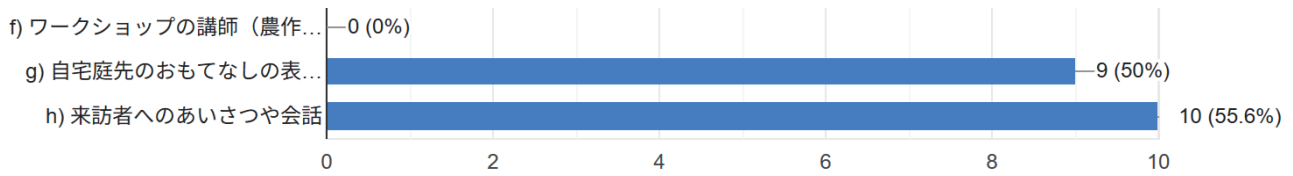


**Q2** 学生たちの提案について、実現したらよいと思われるものを選んで下さい。（複数回答可）〈19件の回答〉



**Q3** 学生たちの提案を実施するとした場合、住民として協力しても良い役割はありますか？（複数回答可）〈19件の回答〉





**Q4** その他、学生たちの提案に対して、ご意見やご感想を自由にご記入してください。

a) 「アブガシマテラス」(虻ヶ島を望む休憩スペース) 〈7 件の回答〉

- ・ 虻ヶ島は県一の展望ができる場所であり、それをアピール
- ・ 世界一長い流木ベンチを作成
- ・ ターゲットを限定し、海の眺望を楽しんでもらうというところに好感がもてた。
- ・ 海、島、山の景色の良いところを活用する。
- ・ 「アブガシマテラス」をベースにして、それぞれの良いところを取り入れればもっと良いものになると思う。
- ・ 休憩スペースとしては賛成です。
- ・ 可能であれば棧橋を設置して遊覧船(虻ヶ島行)を将来的に就航できたらいいと思う。

b) 「姿の花泊プログラム」(山村留学プログラム) 〈5 件の回答〉

- ・ (農村留学のプログラムに) ワークショップの他にも織り込む。
- ・ 留学生の方々を受け入れることは我が家ではできない。受け入れできる家庭が少ないのではないかと懸念があります。
- ・ 現実的ではないと思います。
- ・ 小学生を対象として、その親や祖父母がつながっている
- ・ キャンプ場は女良地区にはないので良いのではないか

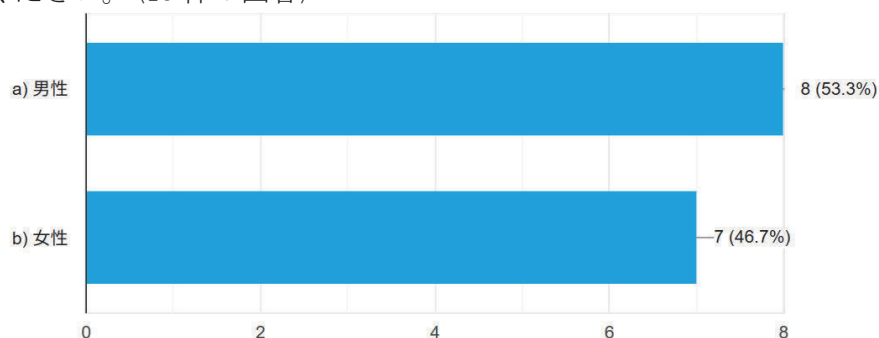
c) 「歩いてめぐろうすたがまっぷ」(姿地区に点在する寄り道スポットを巡る散策) 〈5 件の回答〉

- ・ (周遊ポイントに) 栽培漁業センターも追加。
- ・ 既存の駐車場を利用し、今ある小路を活かすアイデアで実現可能かなと思います。三景デッキにアブガシマテラスも作って、そこにトイレやシャワー施設、自販機などあれば、利用者には便利かなと思います。
- ・ 姿地区の整備にも役立つ。
- ・ 空家など(に対して)、道の安全性は(確保できるのか)?
- ・ 今回のマップを利用したウォークラリーをやってみたら面白い

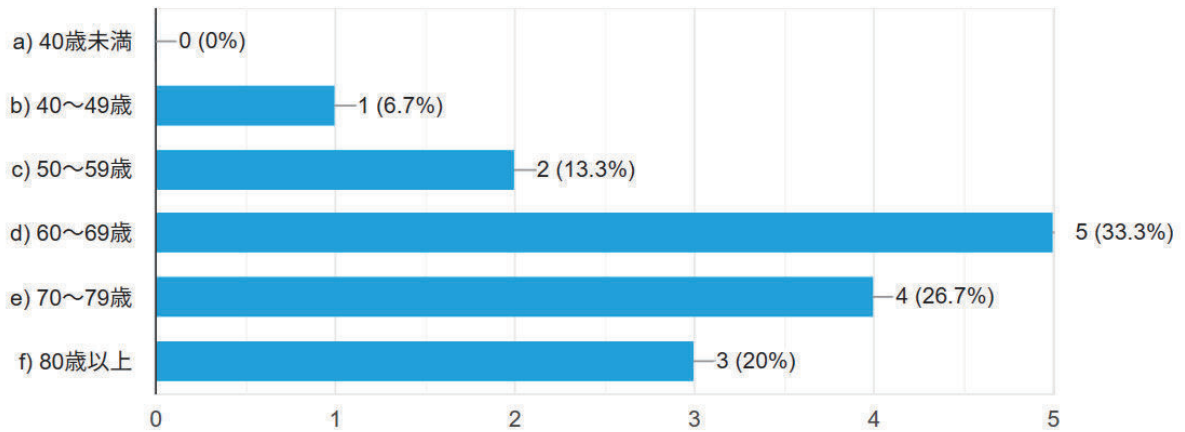
## 8-2 姿地区における「アブガシマテラス」の社会実験案に関するアンケート

2026. 01. 03 実施

**Q1** 性別を教えてください。〈15 件の回答〉

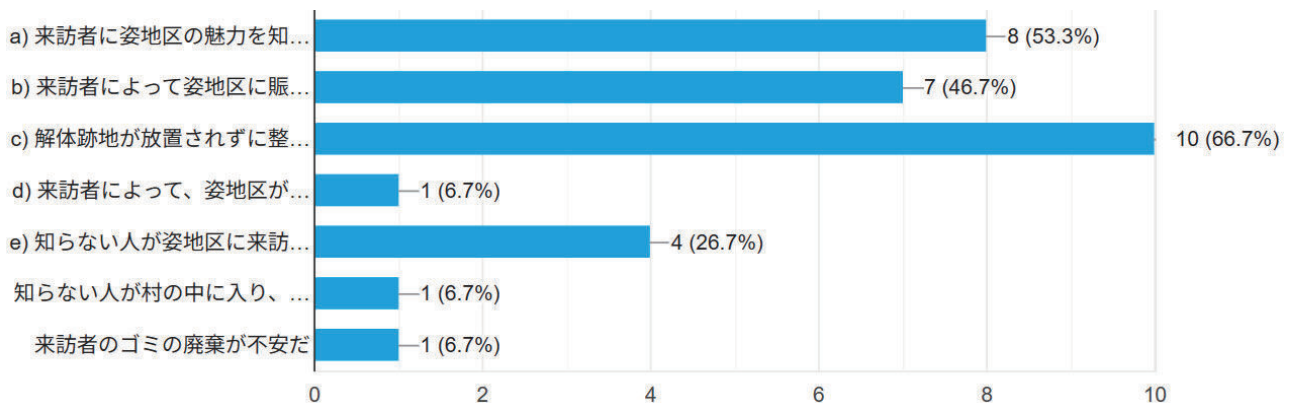


**Q2** 年代を教えてください。〈15件の回答〉

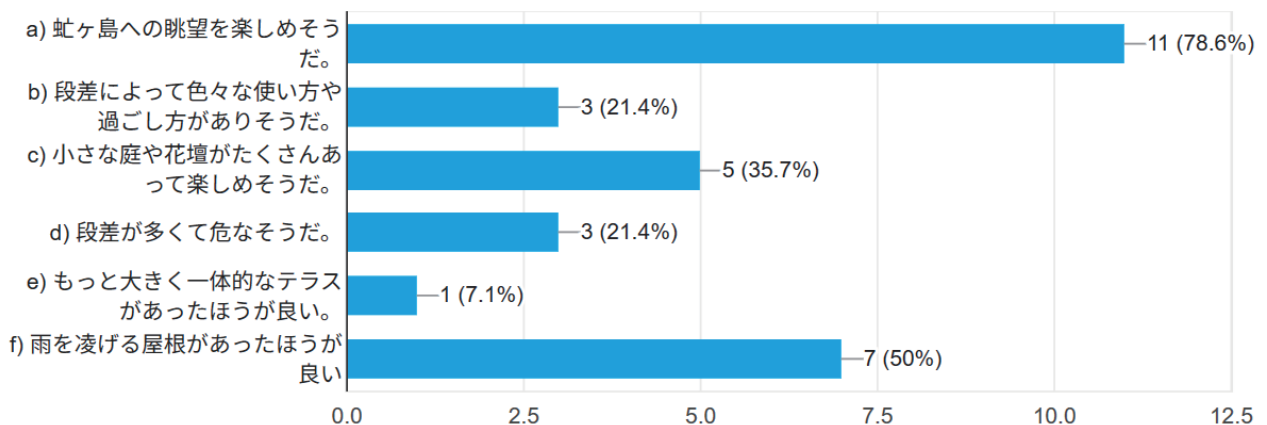


**Q3** 年代を教えてください。〈15件の回答〉

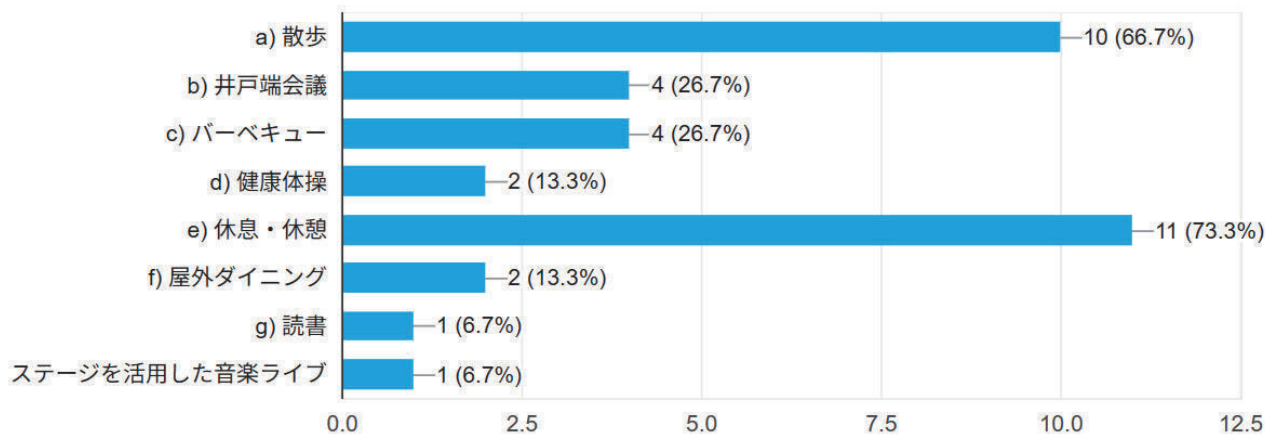
学生たちの提案は、解体跡地を活用することで、普段は姿地区の住民が気持ちよく過ごせるスペースを整備し、そのスペースを姿地区以外の人にも積極的に開放することで、来訪者に姿地区の魅力を体験してもらい、その結果として姿地区の交流人口を増加させることを目的としています。姿地区のファンが増えれば、後に姿地区への移住を検討する人もあらわれるかもしれません。こうした主旨の提案に対してどのように思われますか？（複数回答可）〈15件の回答〉



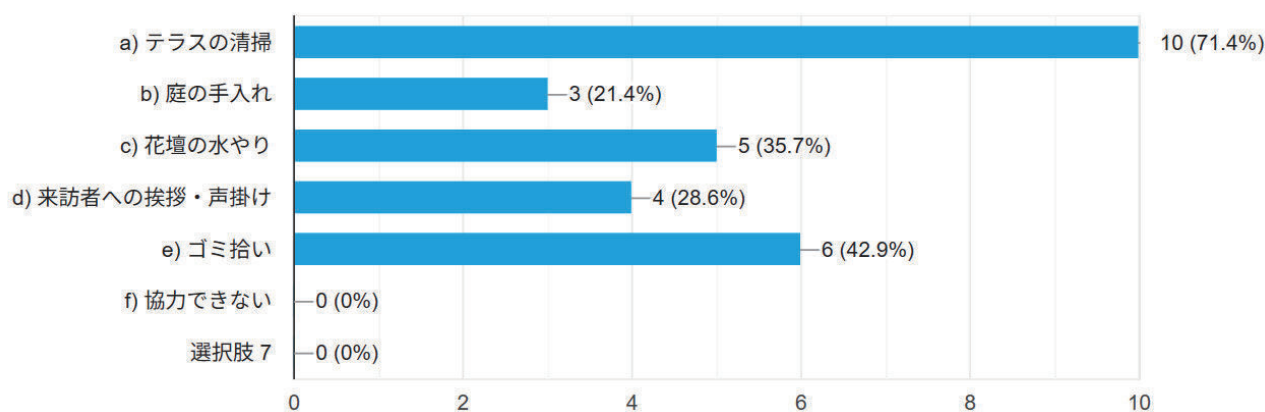
**Q4** 社会実験案について、該当するものを選んでください。（複数回答可）〈14件の回答〉



**Q5** 社会実験の期間に、「アブガシマテラス」をどのように利用してみたいですか？（複数回答可）  
 〈15件の回答〉



**Q6** 社会実験の期間に、保守管理のために住民として協力しても良い役割はありますか？（複数回答可）〈14件の回答〉



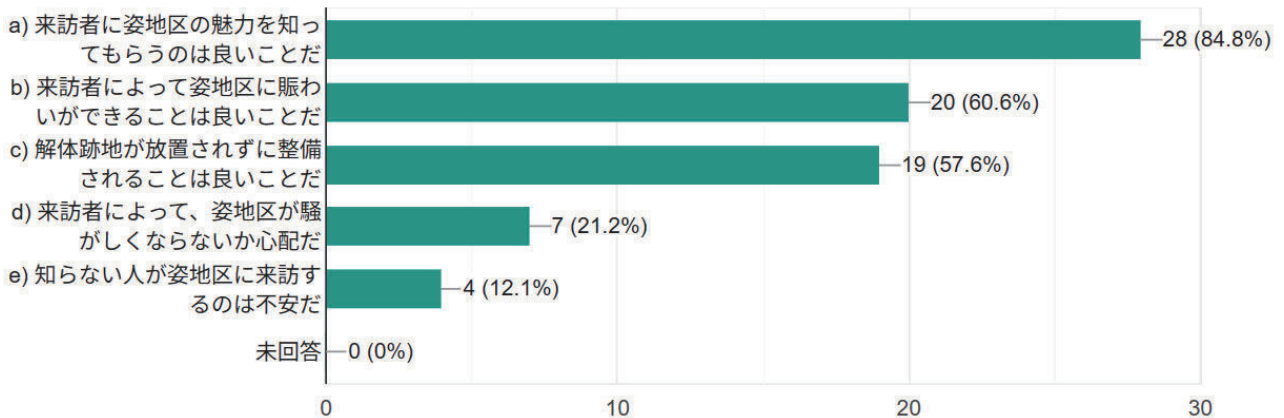
**Q7** その他、社会実験案に対して、ご意見やご感想を自由にご記入してください。〈4件の回答〉

- ・交通安全に配慮してほしい。
- ・一部を施工するとはどこのことか？ その所有者の許可をもらったのか？
- ・予算面がありますが材質を重視してほしい（木材では劣化する）。クラウドファンディングなど活用し、予算を確保する。
- ・駐車場はどうするのか？

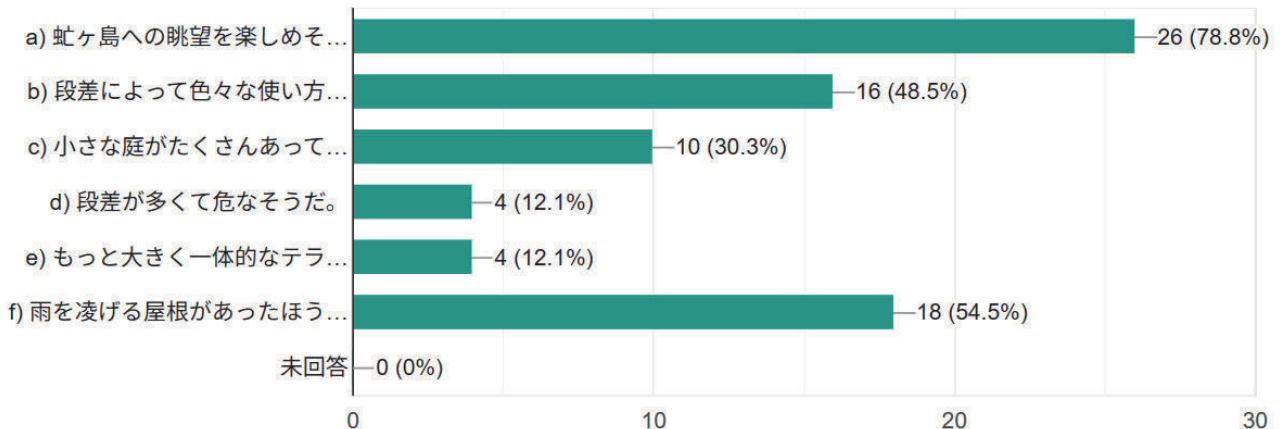
### 8-3 「アブガシマテラス」 オープニングアンケート【住民用】

2026. 03. 29 実施

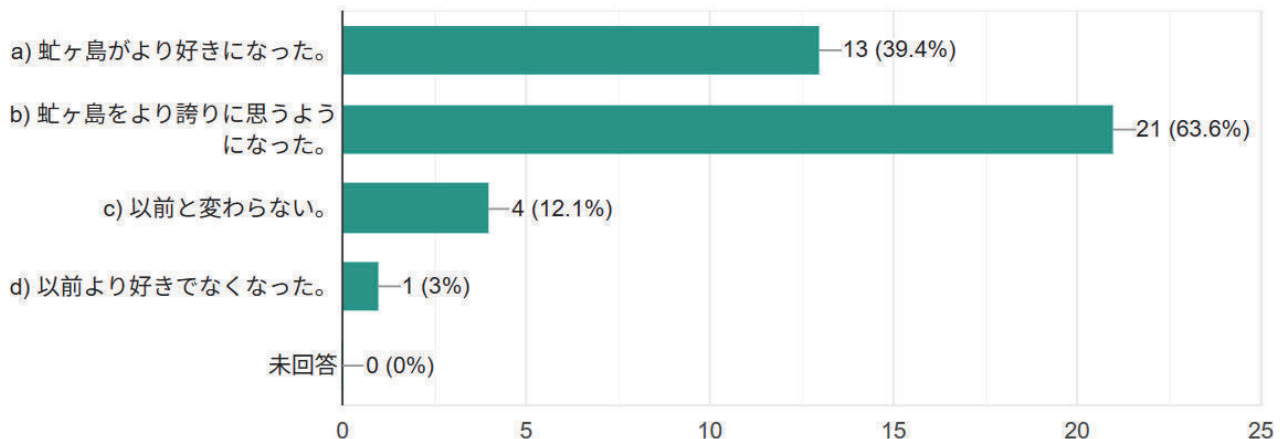
**Q1** 学生たちの提案は、解体跡地を活用することで、普段は姿地区の住民が気持ちよく過ごせるスペースを整備し、そのスペースを姿地区以外の人にも積極的に開放することで、来訪者に姿地区の魅力を体験してもらい、その結果として姿地区の交流人口を増加させることを目的としています。姿地区のファンが増えれば、後に姿地区への移住を検討する人もあらわれるかもしれません。こうした主旨の提案に対してどのように思われますか？（複数回答可）〈33件の回答〉



**Q2** 「アブガシマテラス」について、該当するものを選んでください。（複数回答可）〈33件の回答〉

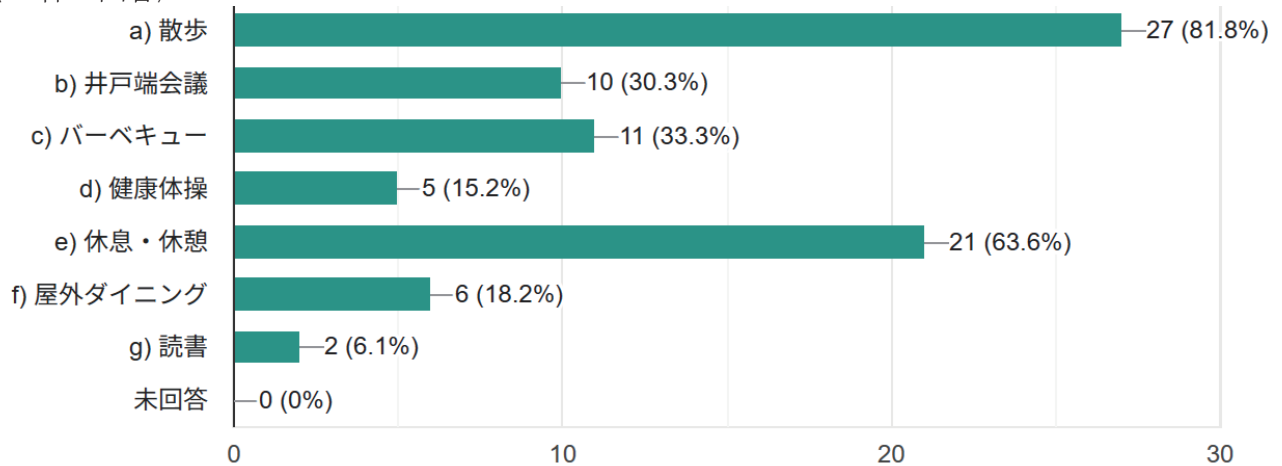


**Q3** 「アブガシマテラス」完成後、虻ヶ島に対する印象はかわりましたか？ 〈33件の回答〉

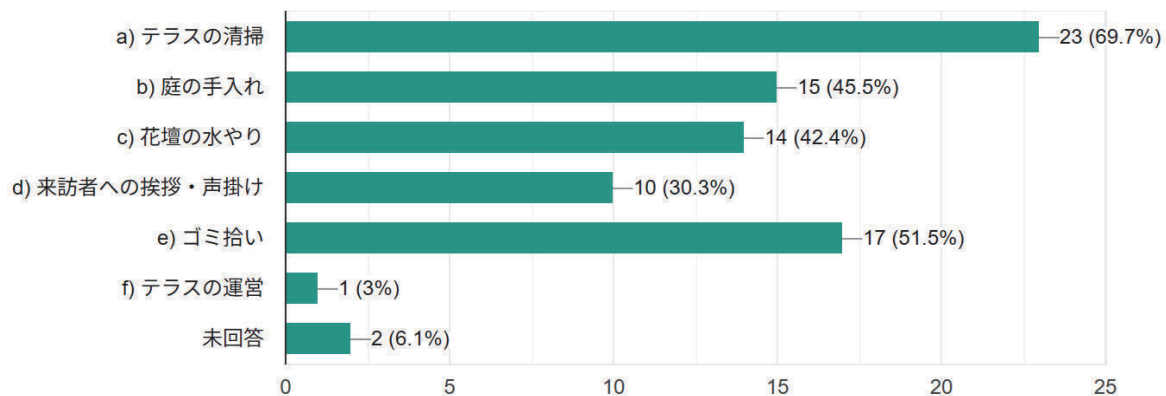


**Q4** 社会実験の期間に「アブガシマテラス」を、どのように利用してみたいですか？（複数回答可）

〈33件の回答〉



**Q5** 社会実験の期間に、「アブガシマテラス」の保守管理のために住民として協力しても良い役割はありますか？（複数回答可）〈33件の回答〉



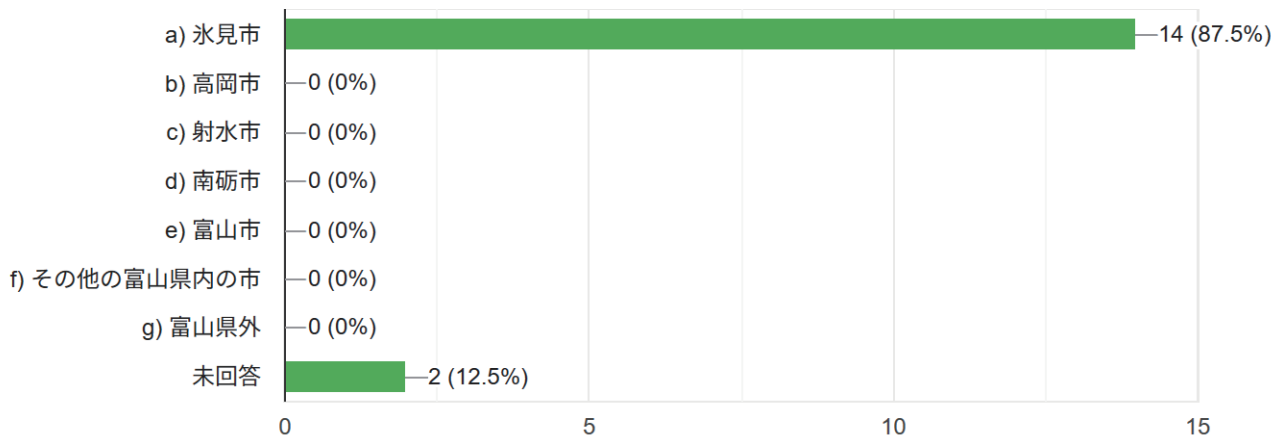
**Q6** その他、「アブガシマテラス」に対して、ご意見やご感想を自由にご記入してください。〈8件の回答〉

- ・トイレ、自販機、キャンプ場、アブガシマのアニメが見れる屋内施設があればよい。
- ・より発展につながると思った。めっちゃすごかった。ありがとう。
- ・素晴らしいテラスを朝から日が暮れるまで作ってくれて感謝します。姿は景色も良いい場所だと思った。
- ・立山が見える時に一緒に見たら素晴らしいと思う。造ってくれてありがとう。
- ・企画が素晴らしい。ありがとう。
- ・来訪者が来るとゴミの放置等汚れないか不安もある。
- ・姿地区の復興に少しでも良くなるように色々提案してくれてありがとう。今後も楽しみです。
- ・姿地区が楽しくなるとよい。

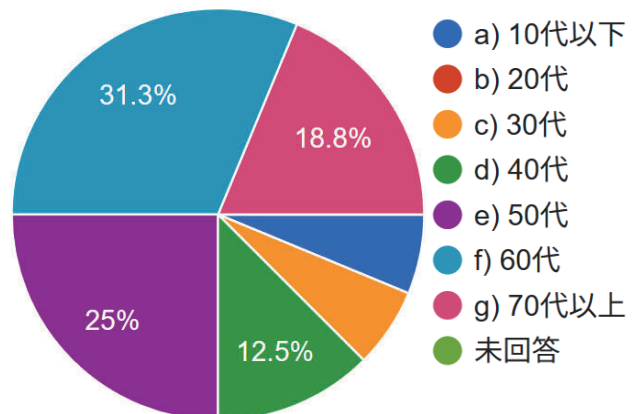
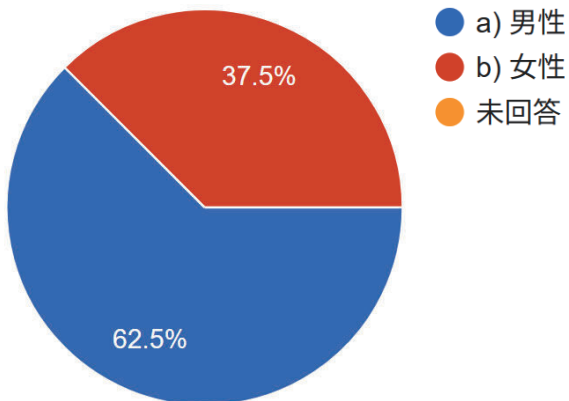
## 8-4 「アブガシマテラス」 オープニングアンケート【来訪者用】

2026. 03. 29 実施

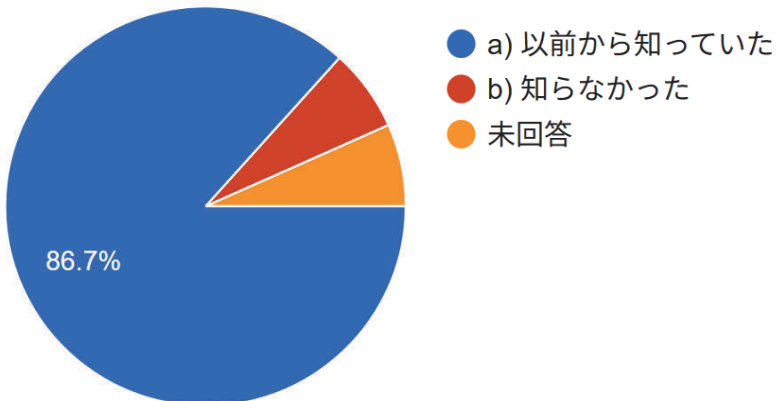
Q1 本日はどの市からいらっしゃいましたか？〈15件の回答〉



Q2 性別と年齢を教えてください。〈15件の回答〉

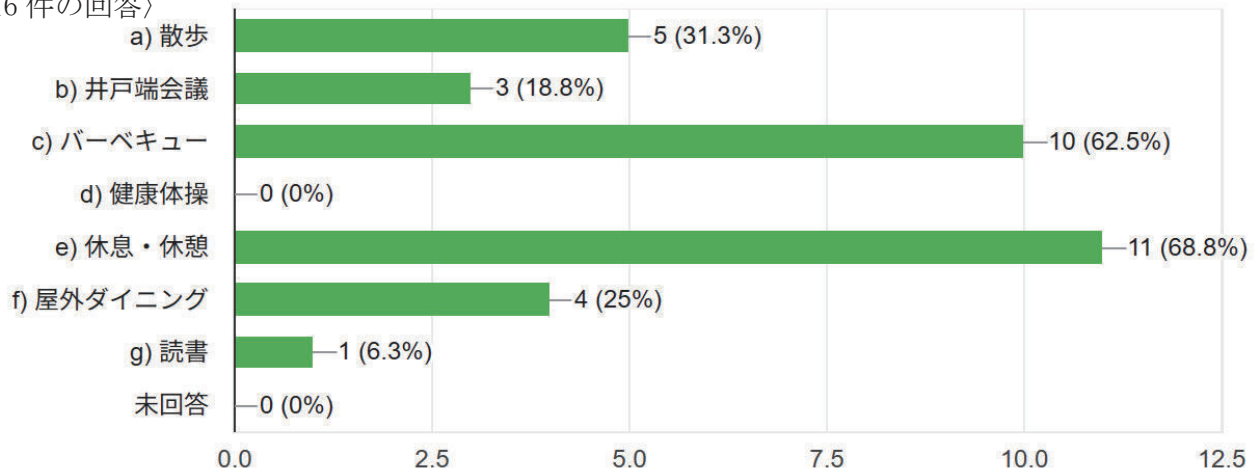


Q3 「アブガシマテラス」に来るまで姿地区のことは知っていましたか？〈15件の回答〉

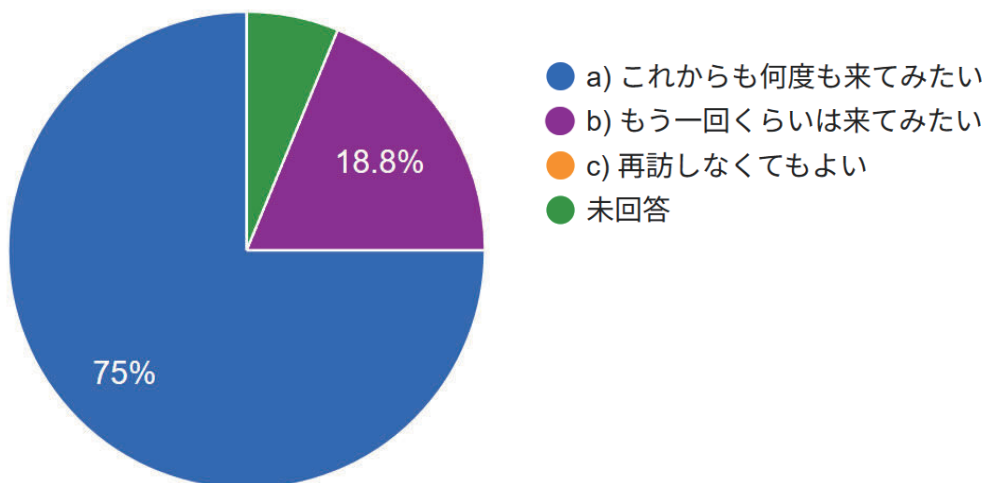


**Q4** 社会実験の期間に「アブガシマテラス」を、どのように利用してみたいですか？（複数回答可）

〈16件の回答〉

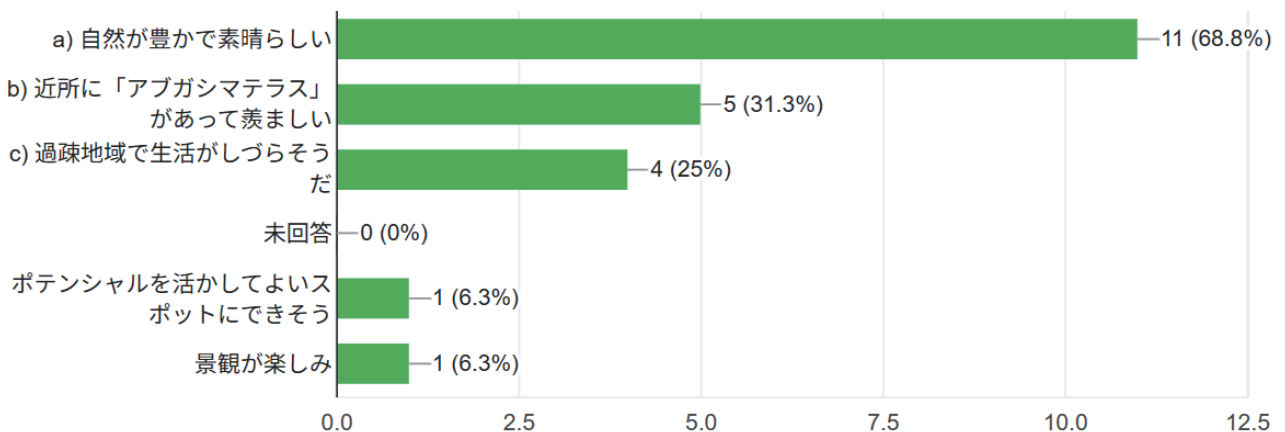


**Q5** 「アブガシマテラス」に再訪したいですか？ 〈16件の回答〉

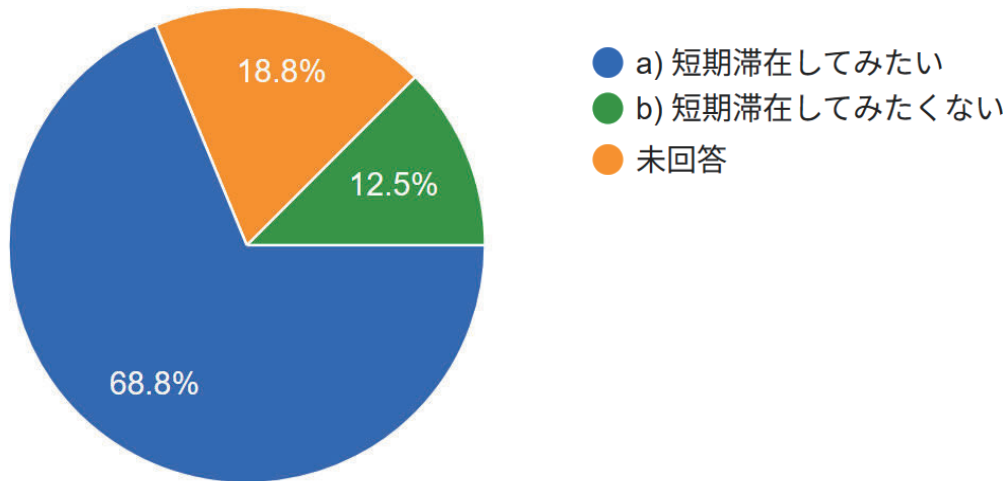


**Q6** 「アブガシマテラス」がある姿地区についてどのような印象をもっていますか？（複数回答可）

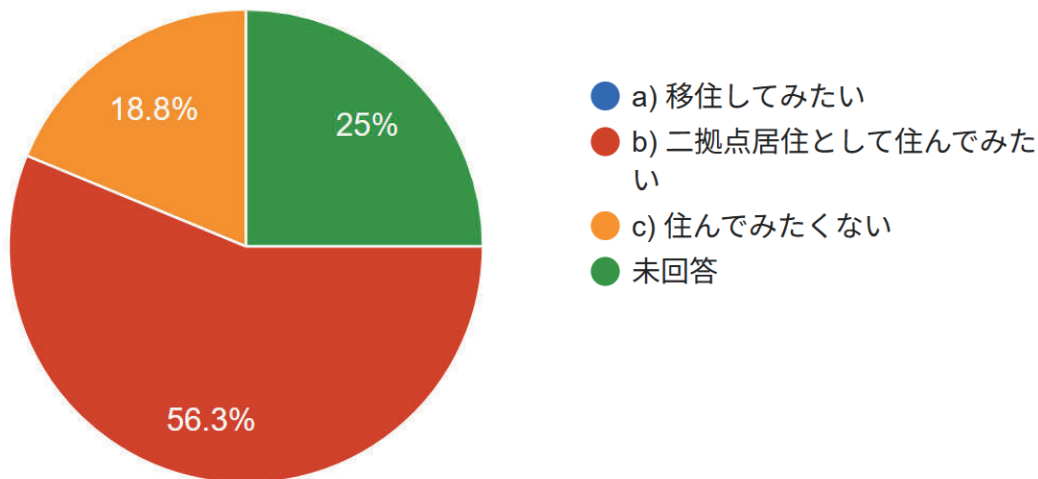
〈15件の回答〉



Q7 「アブガシマテラス」がある姿地区に短期滞在してみたいと思いますか？〈16件の回答〉



Q8 「アブガシマテラス」がある姿地区に住んでみたいと思いますか？〈16件の回答〉



Q9 その他、「アブガシマテラス」に対して、ご意見やご感想を自由にご記入してください。

〈8件の回答〉

- ・ 虻ガ島は姿地区の最高の宝物。これを活かさぬ手はない！ここにとどまる時間を増やすにはどうするか？ここに少しでも長く滞在する理由を創りたい。立山連峰がパキパキに見える日にここに居たい。虻ガ島を眺めながらの海水浴もいい。立山連峰が照らされる夜にも来てみたい。BBQができるならそれもよい。恋人たちのデートスポットになっても良い。トイレも必要ですね。日常的に姿の人たちが集っている風景も観光客は興味をもつのでは。
- ・ 全て完成したアブガシマテラスを楽しみにしている。皆さん、身体に気を付けて頑張ってください。
- ・ カレーを食べながら見る景色が良かった。また来たいと思った。
- ・ ver2.0、3.0とさらに発展することを期待している。ポケモンの「えんむすびーち ニンフィア with Love」を誘致できないか。
- ・ 少しずつこれからも姿地区住民と他からの人と交流し、前を向いて進んでいってください。
- ・ 具体的な形をしてのスタートとして、企画として高く評価したい。
- ・ 早く元の姿地区に戻ってほしい。復興の一步となることを祈っている。
- ・ 雨が降っても居れるような場所だと良い。景色がとてもいいので、風がとても気持ちよく感じた。駐車場が分かりやすい場所にあればよい。

## 8-4 アンケート調査の考察

これまで【姿地区における「解体跡地を活用した賑わいづくりの発表会」に関するアンケート 2025.08.09 実施】（以下【住民説明会】）、【「アブガシマテラス」の社会実験案に関するアンケート 2026.01.03 実施】（以下【社会実験案】）、【「アブガシマテラス」オープニングアンケート住民用 2026.03.29 実施】（以下【オープニング住民用】）、【「アブガシマテラス」オープニングアンケート来訪者用 2026.03.29 実施】（以下【オープニング来訪者用】）と4つのアンケートを実施した。

### 8-4-1 住民を対象とするアンケートについて

姿地区の住民を対象とした【住民説明会】【社会実験案】【オープニング住民用】に共通する質問として、**姿地区の住民だけでなく来訪者も対象とした跡地活用の賑わいづくりの提案に関する質問**（【住民説明会】Q1、【社会実験案】Q3【オープニング住民用】Q1）では、〈来訪者に姿地区の魅力を知ってもらうのは良いことだ〉〈来訪者によって姿地区に賑わいができることは良いことだ〉〈解体跡地が放置されずに整備されることは良いことだ〉といった肯定的な回答が多くみられたが、〈来訪者によって、姿地区が騒がしくならないか心配だ〉〈知らない人が姿地区に来訪するのは不安だ〉〈来訪者のゴミの廃棄が心配だ〉といった回答も少数みられた。その傾向はオープニング時でも変わらなかった。また、**住民として協力しても良い役割に関する質問**（【住民説明会】Q3、【社会実験案】Q6【オープニング住民用】Q5）では、〈清掃〉や〈庭の手入れ〉、〈花壇の水やり〉といった保守管理に関する回答が多くみられ、次いで〈来訪者へのあいさつや声掛け〉等もみられた。その傾向はオープニング時でも変わらなかった。このことから、解体跡地を活用して来訪者も利用できる賑わいスポットができることに対しては、姿地区の住民は、日常の生活に支障がないのであれば、概ね肯定的であり、その維持管理に関しても協力的であるといえる。

【社会実験案】【オープニング住民用】に共通する質問として、**「アブガシマテラス」の印象に関する質問**（【社会実験案】Q4【オープニング住民用】Q2）では、〈虻ガ島への眺望を楽しむ場〉、〈段差を活かした様々な使い方ができる場〉、〈雨や日差しを凌げる屋根を望む〉回答が多くみられた。**「アブガシマテラス」の利用方法に関する質問**（【社会実験案】Q5【オープニング住民用】Q4）では、〈散歩〉や〈休憩・休息〉といった個人での利用が多くみられ、次いで〈井戸端会議〉や〈バーベキュー〉といったコミュニケーションや団らんの場として複数人での利用を望む回答がみられた。このことから、姿地区の住民にとって、竣工時の「アブガシマテラス」は社会実験案に対して抱いたイメージ通りに概ね具現化できているといえる。

【オープニング住民用】においては、**「アブガシマテラス」の完成後、虻ヶ島に対する印象に関する質問**（Q3）では、虻ガ島をより好きになった、より誇りに思うようになったという回答が殆どであり、姿地区の住民の虻ガ島に対する愛着や誇りを「アブガシマテラス」が助長しているといえる。

#### 8-4-2 来訪者を対象とするアンケートについて

アンケートの回答者の属性（Q1、Q2）として、ほぼ全員が〈姿地区以外の氷見市内在住者〉であり、〈姿地区を以前より知っている人〉であった（Q3）。「**アブガシマテラス**」の利用方法に関する質問では、〈休憩・休息〉と〈バーベキュー〉の回答が多くみられた。また、「**アブガシマテラス**」に**再訪したいかという質問**では、75%が〈これから何度も来てみたい〉約20%が〈もう一回くらいは来てみたい〉と回答し、「アブガシマテラス」が姿地区の交流人口の増大に絶大な効果があることがわかる。また「**アブガシマテラス**」がある姿地区の印象についての質問では〈自然が豊かで素晴らしい〉〈近所に「アブガシマテラス」があって羨ましい〉といった肯定的な回答に次いで、〈過疎地域で生活がしづらそうだ〉といった否定的な回答もみられた。さらに「**アブガシマテラス**」がある姿地区に**短期滞在してみたいかという質問**では75%が〈短期滞在してみたい〉と回答していた。「アブガシマテラス」がある姿地区に**住んでみたいかという質問**では、〈移住してみたい〉という回答はみられなかったが、〈二拠点居住として住んでみたい〉という回答が過半数みられ、「アブガシマテラス」が二拠点居住を促進する契機にもなり得ることがわかった。

## 9. おわりに

「アブガシマテラス」により、地元住民、地区外住民、行政関係者など多様な関わりが生じた。特に地元住民は日常的に現場を訪れ、作業への参加や見守り、ワークショップへの参加といった建設プロセスへの関与により、完成後のテラスに対する愛着や誇りが醸成されたといえる。今後は、テラスの運営方法や利用方法についてワークショップを行い、住民の意向に寄り添いながら、必要に応じてバージョンアップしていく予定である。また、姿地区の住民だけでなく来訪者を対象としたイベントを行うことで、氷見市以外に在住の来訪者にもアンケート調査を行うことで、「アブガシマテラス」による姿地区の交流人口増加への効果をさらに検証していきたい。

テラスに人が集い、虻ガ島を眺めながら、姿地区の未来について語り合う場となれば、「アブガシマテラス」は自ずと被災した住民の心の拠り所となり、復興の象徴となりえるであろう。